

乱れるウクライナの治安

ゼレンスキー大統領は、メディア・インタビューで以前から薬物摂取を疑われていました。ウクライナ大統領府のオレクシイ・アレストビッチ顧問(2023年1月、辞職)は、8月27日、ゼレンスキー大統領の麻薬中毒を非難しないよう呼びかけるとともに、ウクライナ兵が麻薬を使用していることを認めました。「戦争は怖くて辛く、薬物無しで行うことは出来ない。だからみんな中毒になっている。彼(ゼレンスキー)は司令官で責任感が強い人間で、サイボーグではありません。このことで彼を非難する権利は誰にもありません。議論する必要さえ全くないのです」とコメントしました。

また、治安の面でも驚くべき状況が起こっています。

ウクライナ軍兵士や極右民族主義者やロシア系住民に憎しみをもつ市民が、少数民族やロシア語を話す民間人などをいろいろな理由をつけて街灯柱や街路樹にテープで括り付けて、下半身を剥き出しにさせて、暴力を振るっています。日本では考えられないような実態を示す映像が国際社会に出回っています。

47頁

ウクライナの治安状況

